

自治会だより

第309号



あいさつ「秋雑感」

自治会長 市川英夫

まもなく令和5年が終わろうとしています。暑（熱）かった夏を引きずりながら短い秋も過ぎ、朝夕の寒さが身に染みる昨今です。

ご承知の様に、5月8日から新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「2類相当」から「5類感染症」に移行し、対応・考え方は「国から一律に求める」から「個人・事業者等の判断が基本となる」に大きく転換しました。

半年が経過し、海外からの旅行者の激増や、私たちの行動・気分など、コロナ前に戻りつつあるようです。しかし開いてくる感染の状況や後遺症を伝える報道、加えて例年と時期がずれたインフルエンザの流行など、まだまだ注意深く日々の生活・行動を心がけるべきと感じています。

その上で、**会員相互の親睦や地域力向上**などを目的に、この秋、防災訓練、グラウンドゴルフ大会などの諸行事を、皆様のご協力のもと、実施することが出来ました。この場をお借りし感謝申し上げます。

防犯パトロール隊

20周年の活動報告

防犯パトロール隊長 山口達夫

自治会防犯パトロール隊は本年9月27日で創立20周年を迎えることが出来ました。自治会会員各位、防犯パトロール隊員有志他、当該活動に御理解、協力を下さいました方々全員に深く感謝を申し上げます。

さて、二〇〇三年自治会文体副会長を担っておりました頃、町内及び周辺地区で連日のように**空巣ねらい**の被害が多く発生し、自治会長当時（洪江氏）と相談の結果、共に対策行動を起すことを決めまして、自治会有志並びに役員と防犯パトロール隊を設立する事にしました。

「自分達の町は自分達で守ろう！」をスローガンに設立当初はメンバーも若かったのかほぼ毎日、自治会館に集いパトロールを実施、短時間で効率よく団地内を見て廻る為、4チーム（A・B・C・D）を編成、全員が自転車、（今から思い出すと長く動けたと思えますが・・・）週6回、全域、全通り（メインから狭い脇道まで）を見て廻り、同時に自分達で考案した空巣対策、防犯

対策をスピーカー片手に行動し呼び掛けました。

更に約半年後、女性隊（主婦中心）の歩いてパトロールする**歩き隊**を追加設立する事が出来ました。彼女達の提案で、歩きながら女性目線でパトロールするこの両隊が、ほぼ毎日スタート時は盆正月休みを省き午前の日、午後の日に分けて実施しました。

有難い事に効果はすぐに現れました！懸命のパトロールのお陰で空巣被害件数が激減しました。多分犯人はこの町は警戒の目が行き届いている！と感じたのでしょうか、我々も本心に心安心出来たのを覚えています。

折角始めた以上出来るだけ長く活動しようと思ひ、数ヶ月後、思い切つて毎日から週三回（月曜日は午前中、水・金曜日は午後）に変更、参加者の体力・精神面への負担軽減を図るべく日数を少なくしました。

更に福祉活動の追加をすべく、パトロール中いつも気になっていた町の美化への取り組みです。折角メンバーが揃っている間に「何かパトロール以外に違うボランティアが出来ないか？」です。

利根フレッシュタウンの西のプレイ・ロットの芝生が春夏秋冬を通じ草が伸び放題となるので水曜か金曜日の午前中自治会の「芝刈り機」を使い年に2〜4回実施、（時にはシルバークのアルバイトと勘違いもされましたが）行政には感謝されながら5〜6年続けました。

あつと云う間の20年経過と問題点が見えてまいりました。毎日の積み重ねはすこいもので町内の犯罪も減少し有難い事に、令和5年9月に自治会から、平成26年と令和5年10月には県警と県防犯協会から表彰されました。



表彰式会場（水戸市）



隊を代表し名前を呼ばれ起立し表彰を

設立20年を迎え心配事も増えてまいりました。隊員の高齢化と隊員数の激減です。平均年齢77才に伴う体力・視力の低下です。4〜5年前から休隊・退隊者が増え、逆に隊員募集を行うも人（特に若い人）が集まらないので困っております。

これからは、現隊員は勿論、町民一人一人が常に防犯を意識し、普段からパトロール精神を維持し続け、啓蒙する努力をする事、末永くパトロール活動をねばり強く行う事です。

最後に「防犯パトロール実施中！」等の看板だけの謳い文句より、本当に行動に移す事が重要であり、効果ありと申し上げ、私の話を終わります。



歩き隊の皆様



凜爽と整列した隊員

「自主防災訓練」を終えて

自治会・自主防災会会長

市川英夫

「地震を想定した訓練」

利根フレッシュタウン自治会の「防災訓練」が11月5日（日）午前9時からおよそ2時間半にわたり、秋の日差しのもと、震度5強の地震を想定し実施されました。

今年の取り組みとして、午前9時の町の防災行政無線放送の「訓練開始放送・サイレン」を受け、自治会の訓練開始につき、昨年同様、町と自治会が連動した訓練となりました。

訓練開始の放送を受け、①「避難誘導・支援訓練」として、「各班長のグループ」と「フレッシュ防災支援隊のグループ」が活動しました。（約60分）

・班長は、AとDの機能班ごとに団地内を6ブロックに分け、それぞれの任務を遂行しました。

A「消火班」（機能：出火防止対策、

初期消火活動）

B「救出救助班」（機能：救出救助活動、

防災機関協力）

C「避難誘導・情報班」（機能：安全避難誘導、

避難人員点呼、情報収集伝達、

防災機関報告）

D「給食給水班」（機能：炊き出し、物資配分協力）

・フレッシュ防災支援隊は、団地内を8ブロックに分け、「要支援者の安否確認、避難誘導・介助訓練」の任務を遂行しました。

次に、②「消防広場」として、稲敷広域消防本部利根消防署署員をお招きし講話を行いました。（約40分）

- ・防火防災の最近の事例等
- ・119番の通話訓練（スマホの注意点）
- ・消火体験（水消火器を使用）
- ・訓練の講評

最後に、班長D「給食給水班」が準備した「非常用保存食（α米炊き出し）」を参加者に配付し、訓練は無事終了しました。

参加した方々は、班長さん、フレッシュ防災支援隊員、消防署員の方々、自治会役員そして見学者など、およそ100名が集まりました。また、自宅で安否カードを掲示された要支援者の方々も多数参加されました。皆さま、お疲れ様でした。

「今年の新たな取り組み」

この日は同じ時間帯で利根町全体でも防災訓練が実施されていました。内容は、町が避難所を開設し、対象となる自治会などが避難所への避難行動を行うという取り組みです。

具体的には、フレッシュタウンの場合同、一次避難所（利根つ子公園）から、指定緊急避難所（日本ウエルネススポーツ大学第一キャンパス・旧利根中）へ移動・避難を実施しました。

ルートは、利根つ子公園→50街区の横→大学グラウンド横→崖下→斜面の階段→大学体育館、です。

メンバーは、平均年齢70歳台後半、男性9名、約10分で避難を完了しました。（階段は、利根中の時代に比べ、手すりもあり歩き易く整備されています）

避難所（会場）では、入所時に避難者カードに氏名・年齢・連絡先等を記入し確認が行われます。

会場内では、間仕切りテントや紙製担架などの防災備品・グッズが展示・紹介されていました。あわせて災害用伝言ダイヤル171の使い方も体験を行いました。

今回の町と連携した防災訓練は小さな一歩ですが有意義であったと判断しています。

水害を想定した

「マイタイムライン」の取り組み

マイタイムラインとは、台風や大雨の水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何をやるのか」をあらかじめ時系列で整理した自分・家族の防災行動計画です。

折り込みの「我が家のタイムライン」を使って作成チャレンジをお願いします。（茨城県防災・危機管理課版）

11月5日「防災訓練」



防災訓練本部・受付



支援隊の受付



炊き出し準備



非常用発電機を作動



消防による防災講和



消火体験（水消火器）



紙製担架・小型メガホン



飲料水・非常食

避難所にて（防災備品等の展示）

グラウンドゴルフ大会

結果発表！

第22回フレッシュタウンゴルフ大会が12月3日(日)、利根っ子公園にて開催されました。

11月12日(日)の予定が雨で中止となり、再トライをして本日の開催となりました。

天気もまあまあ良く、あとはスコアが良ければ問題なしと思つての参加です。

12月の寒さ対策も十分に全員元気にプレーに打ち込んでいました。

大人にまじって7名の小学生の参加があり、その中で小学生がホールインワンを達成するなど、盛り上がりを見せた大会でした。

なお、コース設営・審判員には、榮寿会、G・Gクラブのご協力を頂きました。ありがとうございます。

(文化体育部)



女性の部		
順位	街区	氏名
1位	46	手島 啓子
2位	36	新井 眞弓
3位	54	小松 光代
3位	8	木俣 邦子

男性の部		
順位	街区	氏名
1位	41	田中 眞一
2位	36	近岡 市太郎
3位	30	太田 勝巳

(敬称略)



表彰式

子供たちには「頑張ったで賞」が贈られました。



青空の下、ラジオ体操からスタート！

皆で楽しくプレーしました



三世交代交流会を終えて

榮寿会会長 高橋武夫



令和五年十一月十八日、利根フレッシュタウン「榮寿会」(老人クラブ)と子ども会育成会との三世交代交流会を新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和元年以来四年ぶりに、開催しました。「榮寿会」16名、子ども会16名(子ども小学生13名、保護者3名)自治会役員4名に参加いただき、全体で36名により行われました。

9時から12時半まででその内容は

一、子ども達に得点を気にせず、グラウンドゴルフを楽しんでもらいました。それどころかホールインワンを出す子どもが二人もいました。

二、メダルを目指してゲーム大会

今回も、金銀銅のメダルを目指して自治会館内でゲームによる熱戦を繰り広げました。

①輪投げ ②バナーゴルフ ③トイレットパー運び④ニール袋に入って滑りやすいトイレットパーを1分以内に一度に何個運べるかを競うゲーム

三、ビンゴゲーム

毎年実施している変わりビンゴですが、今回は4つのテーブルに分かれて、都道府県名をビンゴカードに書き込み、各テーブル毎に都道府県名を発表してビンゴを完成していく形で楽しみました。子ども達が盛り上がっていたの言うまでもありませんが、榮寿会の皆さんが大変盛り上がっていました。

四、ゲーム成績発表と賞品授与

3つのゲームによる得点により、金メダル、銀メダル、銅メダルと賞品を子ども達に授与しました。更にグラウンドゴルフでホールインワンを出した二人の子どもにも自治会から特別賞が贈られました。

五、お礼の詞

榮寿会・子ども会育成会・子ども代表から、感謝の言葉と来年もまた会いましょうと述べられ、更に参加者全員にお土産が手渡され、楽しい三世交代交流会が閉会となりました。

昼食を用意しましたが、新型コロナウイルスも完全には収束していないことから、自治会館で食べるか持ち帰るか、個人の判断に委ねることとして、殆どの方がお持ち帰りになりました。



防災士講習を受講して 《防災力の再点検を》

業務改善・IT担当 長岐斤夫

防災大学を聴講して、町の防災に関し、気が付いた何点を紹介します。

日本は4つのプレートが交錯する世界でもまれにみる地層でできています。30年以内に巨大地震（南海トラフ・首都直下型地震の発生確率はそれぞれ80%と70%。街は、造成前は川と田、昔は海でした。流域大雨時、利根川は最大平常時の百倍の流量となります。大地震と洪水への備えが肝要です。

地震への備え

自宅の耐震診断をして必要な対策実施。家具固定（阪神淡路地震で8割圧死）わが家の安全確認（自宅内の危険な場所・安全な場所は？）

地震が来たら、自分の身の安全確保が最優先（テーブルなどの下に避難）地震は何度も来ます。揺れが収まってから出口の確保、ガスの元栓を閉め、避難時には、コンセント（特にアイロン、ドライヤー、トースターなどの）を抜きブレーカーを切る

洪水への備え

水災ハザードマップを確認・マイタイムライン作成し、災害が発生した時に『いつ』『何をするか』決める
警戒レベル3で高齢者等避難、レベル4で全員避難、レベル5で緊急安全確保（空振り恐れず、率先避難逃す）

避難準備

避難場所確認や避難所への経路を、昼間と夜間、実際に歩いて確認。

要支援者家庭で、避難方法事前確認持ち出す物の事前準備（季節により必要な物が違う、薬・眼鏡・入歯も）玄關に避難先表示

火災への備え

火災警報器の設置点検電池寿命十年
通電再開・ガス復旧時火災に注意
電気火災には必ず消火器で（水は×）

情報について

連絡方法を決めておく（伝言ダイヤル171や災害伝言板Web171、三角連絡法）被災地以外の人に連絡を依頼）
電話は手短かに不要不急の電話控える
公式情報を使う（嘘に惑わされない）

備蓄

最低3日分用意、在宅避難の場合は1週間分、使用期限前に回転。



70年代(左)と現在(右)のフレッシュタウン



<https://disaportal.gsi.go.jp>
利根町ハザードマップ

誰でもできる
わが家の耐震診断



https://www.kenchiku-bosai.or.jp/taishin-portal/daredemo_sp/

洪水キキクル



https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/riskmap_flood.html

赤十字社資(募集)の報告

多くの皆様のご協力により、今年度の募金は 金額 一九五、二六五円
が集まり、自治会から利根町社会福祉協議会にお届けしました。(7月)



社会福祉協議会 会員募集結果のご報告

今年度は 加入人数四一七戸
金額 四一七、〇〇〇円
を社会福祉協議会に納入しました。ご協力ありがとうございます。(9月)

赤い羽根共同募金の報告

会員皆様のご協力とご理解を頂き、今年度は次の通り募金をお預かり致しました。

金額 一九八、三七八円

集められた募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われます。

募金は自治会から、茨城共同募金会にお届けしました。(10月)

歳末助け合い共同募金

歳末助け合い運動は「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに掲げています。今年も沢山の会員の方にご理解とご協力を賜りました。ありがとうございます。(11月)

(11月)

件数 二八九件
金額 一七四、四四二円

【募集後記】

今年も残すところ僅かとなりました。309号は防災情報が満載です。我が家のタイムライン作成、QRコードへのアクセス、是非お試し下さい。(上)

【会員往来】(敬称略)

入会 ようこそ!
41-1 ヴォヴァンス
26-13 高木陸徳

退会 (転出) 該当なし

訃報 謹んでご冥福をお祈り
申し上げます

7-4 小田島 和枝
12-8 遠藤 光子
6-11 佐々木 幸子
52-7 武田晴一郎

(ご家族の了承を頂いて掲載しています)

我が家のタイムライン【共通版】 (家)

まず、**ハザードマップ**で我が家の災害リスクを確認！

点線に沿って丸で囲む。(両方の場合もある)

河川氾濫による
浸水の危険あり

土砂災害の
危険あり

避難先 (避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段	避難先までの移動時間
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 分

注意すべきこと	気象・避難情報の発令	逃げ遅れないためにやるべきこと
----------------	-------------------	------------------------

**台風が接近
大雨のおそれ**

天気予報や台風進路予測など気象庁が発表する情報、河川の水位に注意！！

【警戒レベル1】

[浸水害・土砂災害]
気象：早期注意情報

【警戒レベル2】

[浸水害]
気象：大雨・洪水注意報
河川：氾濫注意水位到達
氾濫注意情報

[土砂災害]
気象：大雨注意報

- ◆テレビやラジオで気象情報(台風情報)を確認する
 - ◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する
 - ◆避難するときに持っていくものを確認する(をつける)
 - ・飲料水
 - ・食料品
 - ・着替え
 - ・タオル
 - ・懐中電灯
 - ・携帯ラジオ
 - ・電池
 - ・携帯充電器
 - ・通帳などの貴重品
 - ・マスク
 - ・ウェットティッシュ
 - ・常備薬
 - ・その他 ()
 - ◆避難しやすい服装に着替える
- ※河川や水田、崖に近づくのはやめましょう

市町村が発令する避難情報に注意！！

**【警戒レベル3】
高齢者等避難が発令**

[浸水害]
気象：大雨・洪水警報
河川：避難判断水位到達
氾濫警戒情報

[土砂災害]
気象：大雨警報(土砂災害)

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル3

◆高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める

- ・どこに避難するか、家族や親戚に伝える。
- ・(連絡する家族や親戚の電話番号：_____)

気象庁や都道府県が発表する情報や、河川の水位に注意！！

**【警戒レベル4】
避難指示が発令**

[浸水害]
気象：記録的短時間大雨情報
河川：氾濫危険水位到達
氾濫危険情報

[土砂災害]
気象：土砂災害警戒情報
記録的短時間大雨情報

点線に沿っていずれかを丸で囲む。

高齢者等 避難完了のタイミング

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル4

◆危険な場所から全員避難する

- ・近所の人に声をかけて一緒に避難する。
- ・(声をかける相手：_____)

警戒レベル4までに「全員」が避難完了！

【警戒レベル5】

[浸水害]
気象：大雨特別警報
河川：氾濫発生！
氾濫発生情報

[土砂災害]
気象：大雨特別警報(土砂災害)

全員が避難完了のタイミング

警戒レベル5になってからでは
『逃げ遅れ』になるリスク大！

【使い方】

- ・家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容を確認しながら避難を行いましょう。
- ・内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に我が家のタイムラインの確認を含む避難行動開始の訓練を行いましょう。